

# 事業紹介

## 父親が育児に関わると いろんなメリットが… 家庭内に父親の仕事を持 ちましょう。

男女共同参画週間フォーラム

自慢の長髪と人なつっこい笑顔で、いきなり「サッカーの北澤さんではありません」と笑いをとって安藤哲也さんの講演は始まりました。安藤さんは、父親の子育て・自立をサポートするNPO法人ファザリング・ジャパンの代表で、パパごはん教室、父子旅行、パパ力検定などの事業に取り組んでいらつしやいます。

そうした事業を紹介していく中で、「父親たちが仕事を終えてすぐに家に帰らないのは、どうも仕事に忙しかたけではないらしい。家に帰っても父親の仕事がなく、居場所もないからではないか」と問いかけられました。たしかに、以前はお風呂をわがすために薪割りをしたり、風呂のエンツツ掃除をしたり、家庭でも父親の仕事がありました。

そこで、安藤さんご自身はお子さんへの本の読み聞かせに挑戦し、お子さんが小学校一年生になるまで、ほぼ毎日続けられたといひます。



このように父親が育児に関わると、母親の育児ストレスが軽減し夫婦の絆が深まり、子どもの成長に良い影響を与えると指摘。笑顔で育児を楽しみ家庭で自分の特別の仕事を持つとアドバイスなさいました。

## 自分をアピールする 履歴書の書き方

女性のための再就職応援セミナー

「女性のための再就職応援セミナー」を六月から七月まで五回に分けて開催しました。七月十七日は第四回の講座で、日本産業力ウンセラ協会九州支部の認定講師湯浅幹子さんによる『履歴書の書き方』がテーマでした。

就職の際、まず応募先に送るのが履歴書で、その書き方によって応募者の第一印象はずいぶん変わってきます。履歴書は公的書類だからルールを守ることが大切です。その上で自分らしさをアピールする方法について湯浅さんは、相手に伝わる志望動機の書き方として、自分らしさを散りばめ、これまでのキャリア、応募先のごとに惹かれよう働いていきたいかを五〜六行で簡潔にまとめるのがコツと、実際のワークを通してわかりやすく解説されました。



## 心に残る親子の ふれあい体験

パパと一緒にキッズクッキング

親子のふれあいを楽しみながら、家族の協力の大切さを考えようと、八月二日、恒例の「パパと一緒にキッズクッキング」を開きました。

この日は十二組二十五名の小学生とお父さんたちが参加し、料理研究家の上山友子さんの指導のもと、オムライスと中華スープ、抹茶ミルクかんづくりにチャレンジ。慣れない調理に悪戦苦闘しながらも、親子で和気あいあい楽しむ姿が見られました。



四年生の田中友梨さんは「お休みの日にお父さんと一緒に参加できてうれしい」と笑顔いっぱい。父親の正史さんは「単身赴任中なので、自分のためにもなると思い参加しました。レパートリーが増えました」と話し、親子で仲よく料理に取り組んでいました。

## 地域や職場での 発表力を高める

パワーポイント習得講座



パソコンを使って企画や計画などを発表する技術を学ぶ「パワーポイント習得講座」を、七月から八月にかけて開催しました。

パワーポイントは、企画案や計画などのプレゼンテーション(提示)に使われるパソコンソフトのひとつ。写真や図、表を多用した企画書を作成し、手軽にスライド化できるため、近年、講演会や会議などで活用されています。

講座は五回シリーズ。パソコンインストラクターの川邊佳乃さんを講師に約二十名が受講し、基本機能の確認から写真、グラフの作成、アニメーションの活用などについて学びました。受講者はスポーツや医療、歴史、文化など思い思いのテーマに従って企画書を作成。効果的な企画書のまとめ方とプレゼンテーションのコツを習得しました。

